

100
万人の
クラシック
ライブ

100万人のクラシックライブ



普段着で聴けるクラシック。

「耳」ではなく「全身」で聴く。

2019年5月11日（土）

午後2時開演（午後1時30分開場）

静嘉堂文庫美術館 地下講堂

注意事項

- ① 携帯電話はマナーモードまたは電源をお切りください。
- ② 動画の撮影はお断りしています。
- ③ コンサートの写真を色々な場面にて使う場合がございます。

Program

グリュック：メロディ

グリュックの作曲した代表的オペラ、「オルフェオ」の第2幕、精霊たちが天国で、静けさと美しい調和を讃えて踊っているシーンです。哀調を帯びた上品なメロディの中にも音楽に込められた情熱が感じられ、優美なバロックの西洋絵画を連想させます。

サン＝サーンス：序奏とロンドカプリチオーソ

この曲は、ヴァイオリニストの大半は弾いたことがあるスタンダードな曲です。フランスの作曲家ですが、スペイン人の名手サラサーテに捧げられた曲でもあり、随所に軽快なスペイン調のリズムが見受けられます。効果的にヴァイオリンの技巧が取り入れられています。旧ソ連の名ヴァイオリニスト、オISTRAフが弾くこの曲の冒頭が、極寒と貧困を耐え忍んでいるソヴィエトの街中の拡声器から流れた時、人々は立ち尽くして耳を傾け、涙したという逸話もあります。

J.S. バッハ：

無伴奏ヴァイオリンの為のパルティータ第3番

ヴァイオリンを勉強する人が避けて通れない曲の一つがバッハの無伴奏ヴァイオリン曲です。バッハは現代音楽の作曲の素地を確立しただけに留まらず、弦楽器や鍵盤楽器の現代的な奏法の可能性を飛躍的に進化させました。ヴァイオリン一本でありながら、複数の音を同時に重ねて、和声・旋律が立体的に編み込まれていて、短い楽章の中にも音楽の喜びと情熱が詰まっています。

Program

〈日本の曲〉 服部隆之 真田丸 他

今回は刀剣の展示会ということもあり、戦国武将真田幸村が題材の人気大河ドラマより一曲を演奏いたします。

ヴィエニャフスキ：ロマンス

ヴィエニャフスキは、当時の最高峰のヴァイオリニストであり、優れた作曲家でもありました。非常に才能豊かでヨーロッパ各地でオファーを受けていましたが、ギャンブルとアルコール好きがこうじて徐々に健康を壊し、短い生涯を終えました。ロマンスはヴァイオリンの美しい音域を存分に聞かせる、その名の通りロマンチックな曲調です。

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

今回は3楽章のみを取り出して演奏しますが、この曲は1楽章の最初の音から3楽章の最後の音まで、弾いていても聴いていてもあっという間に過ぎてしまいます。天才メンデルスゾーンの次から次へと湧き出てくる音楽的アイディアと、産みの苦しみを一切感じさせない軽やかな想像力に、ただただ心奪われてしまいます。

※曲目・曲順は都合により変更する場合がございます。

演奏者



堀脩史(ヴァイオリン)

3歳よりヴァイオリンをはじめ。10歳でオーケストラと共演。15歳で米国ミシガン州のインターローケンアーツアカデミーに奨学金を得て留学。マンハッタン音楽院、ニューヨーク大学大学院を経て、マネス音楽院でアロンローザンドのもとで研鑽を積み、プロフェッショナルディプロマを取得。その後、シカゴシビックオーケストラメンバーや、ニューヨーク州に立ち上げられたオーケストラ・ナウの創設メンバーとして活動。



岩下真麻(ピアノ)

熊本県出身。九州交響楽団、ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団と共演。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール 2017 in Tokyo 特別賞。デイ・サービスセンターや東日本大震災、熊本地震被災地での慰問演奏も積極的におこなっている。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部、同大学大学院修士課程室内楽専攻を修了。これまでにピアノを竹下千晴、井上直幸、竹内啓子、御木本澄子、浜口奈々、迫昭嘉の各氏に師事。室内楽を迫昭嘉、松原勝也の各氏に師事。

100万人のクラシックライブ

日本では、人口の0.3%しか聴かないと言われているクラシック音楽。クラシックを聴かない理由は「堅苦しい」「難しい」「眠くなる」「値段が高い」などですが、クラシック音楽は人の心を豊かにし、脳のリフレッシュにはとても良いと言われています。至近距離での音の振動は思っている以上に衝撃的です。100万人のクラシックライブは至近距離での演奏を安く気軽に聴いてもらうミニライブです。

この活動は「一般財団法人100万人のクラシックライブ」が2015年秋より本格的に開始し、年間400回以上のコンサートを全国様々な場所で開催し、2万2000人以上の方々がコンサートに参加しています。(2018年現在)若手の演奏家に演奏の機会を提供すると同時に、日頃クラシックを聴かない人たちに気軽にクラシック音楽を生で聴いていただくことを目指している非営利活動です。(100万人のクラシックライブHPより) 静嘉堂文庫美術館はこの趣旨に賛同し、今回の企画となりました。